



**DSK**

株式会社 **電算システム**

株主の皆さまへ

第48期 決算のご報告

平成26年1月1日～平成26年12月31日

寺尾ヶ原・千本桜(岐阜県・関市)

東証第一部／名証第一部 3630

Challenge  
Innovation  
Speed

Gifu

DSK

## Contents

株主の皆さまへ／配当について	02
<b>特集</b> 成長するNewビジネス	03
連結財務ハイライトと平成27年12月期 通期業績見通し	05
経営指標の推移／事業別の業績	
Go!Go!DSK	08
DSK TOPICS	09
会社概要及び株式情報	10
DSK ラウンジ	裏表紙

## 表紙について

「寺尾ヶ原・千本桜(てらおがはら・せんぼんさくら)」



毎年4月中旬に満開を迎える寺尾ヶ原千本桜公園の桜並木は、約2千本の桜が全長2kmにもわたり見事な「桜のトンネル」となります。この桜並木は関市武芸川町(むげがわちょう)北部にある寺尾峠から寺尾地区を結ぶ県道沿いにあり、もともとは地元住民によって植栽された300本の桜から始まりました。今では開花シーズンともなると「ぼんぼり」が飾られ、たくさんの屋台でにぎわう桜の名所となっています。夜にはライトアップもされ、昼間とは違った幻想的な風情をみせています。

(写真:岐阜新聞社提供)

# 株主の皆さまへ

## 5期連続の増収増益。 売上、利益ともに過去最高となりました。

株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

平成26年12月期(第48期)の決算の概要がまとまりましたので、株主の皆さまにご報告させていただきます。

当期における日本経済は回復基調にありますが、依然として先行きは不透明な状況が続いております。このような中、当社グループはストックビジネス<sup>※</sup>での事業拡大やM&Aでの事業強化に注力するなど、企業収益の向上に努めてまいりました。その結果、売上高は前期比7.9%増の264.9億円、経常利益は13.8%増の11.6億円となり、売上高、利益ともに過去最高、特に利益面においては2桁成長を達成することができました。

2つの主力事業別の業績については、情報サービス事業は、Windows XPのサポート終了による駆け込み需要や、BPO業務の量的拡大、クラウド関連サービスの伸長などから売上は前期比で14.3%増となりました。

収納代行サービスは、一部通販事業者の合理化やクレジット手数料の純額表示への変更など当期固有の要因に



代表取締役社長執行役員COO (最高執行責任者) 代表取締役会長執行役員CEO (最高経営責任者)

たなか やすのり みやち まさなお  
田中 靖哲 宮地 正直

より、売上高は前期比でほぼ横ばいに推移しました。しかし、下期において決済サービスの新規顧客の獲得や、国際送金サービス、収納窓口サービスなどのマーケット開拓が進み、これらが次期の売上増につながるものと考えております。

次の平成27年12月期は、ストックビジネスを更に拡充し成長の源泉の確保に努め、海外も視野に入れた新規事業の展開等にも注力してまいります。これにより売上高は当期比13.2%増の300億円、経常利益は4.0%増の12.1億円を目標に掲げ、グループ一体となり業績達成に向け邁進してまいりますので、引き続きご支援ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

※ストックビジネス…蓄積型の売上構造を持ち、顧客を開いて持続的にサービスを提供しながら長期的に収益を上げていけるビジネスです。通信などのインフラ事業や、当社の収納代行サービスなどもその一つです。

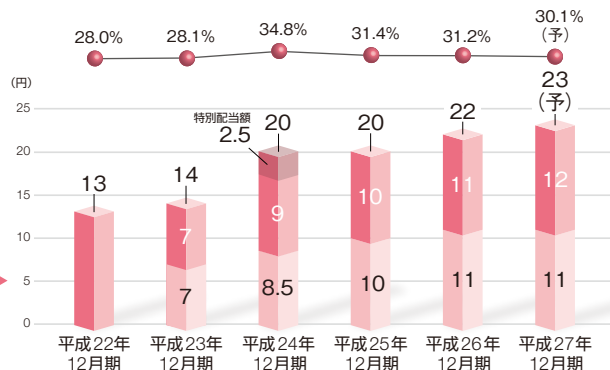
### 配当について

当社では上場以来、毎年普通配当において増配を維持しており、平成26年12月期は中間11円、期末11円の年間22円となりました。なお、平成27年12月期は中間11円、期末12円(当期と比較して1円増配)の年間23円を予定しております。

#### 1株当たり配当額の推移(単位:円)

※過去の配当額は、株式分割(平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割)を勘案した数値

- 配当性向
- 一株当たり期末配当額
- 一株当たり中間配当額



# 成長するNewビジネス

## 国際送金サービスと収納窓口サービス

コンビニネットワークと収納代行サービスのノウハウを活かした

### コンビニ Western Union® 国際送金サービス

コンビニ Western Union® 国際送金サービスは平成24年2月にサービスを開始しました。本サービスの特徴は、収納代行サービスで培った決済サービスインフラとノウハウを活かした点で、ファミリーマートの全国11,000店舗から入金を受け付け、世界200か国以上・50万か所以上へ送金することが可能です。事前登録によって取得したIDとパスワードで何度でも時間

を気にせず\*コンビニエンスストアから世界に送金ができます。日本では近年、外国人登録者数が増え、全国各地で海外に向けた送金需要が年々高まってきています。今後は取り扱いコンビニエンスストアの拡充や、国内での受け取りも可能にするなど、サービスの強化を目指してまいります。

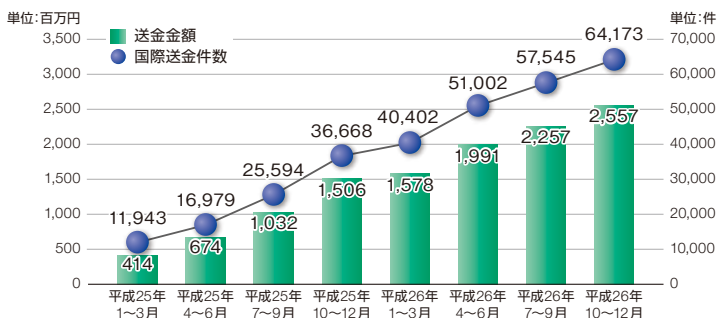
\*365日 送金受付時間9時~21時

### 国際送金サービスの仕組み



### 国際送金サービス事業の状況

#### 国際送金件数と送金金額



- 平成26年12月の1日あたりの送金件数は、前年同月比で1.65倍の**760.1件**
- 登録者数に対する利用率も**40%以上**となり、順調に当社の国際送金サービスの**知名度や定着率が向上**
- **送金キャンペーン、SMSの活用**により登録者の利用促進を実施中

当社は情報処理サービスをはじめとしたストックビジネスが事業収益の基盤となり成長の源泉となっています。現在の主要なストックビジネスの一つである収納代行サービスからはNewビジネスが次々と生まれており、ストックビジネスの拡充の一翼を担っています。今回の特集では、そのNewビジネスの概要と進捗状況についてご紹介します。

## 決済の窓口をコンビニエンスストア以外の小売業にもより広く提供する 収納代行窓口サービス (Biz@gent)

コンビニエンスストアでの収納代行業をIT企業で初めてサービスを開始してから18年目、今ではコンビニエンスストアで通販や公共料金等の代金を支払えるこのサービスは多くの人に親しみのある身近なサービスとなりました。当社はこのサービスをもっと便利に、もっとたくさんの場所でご利用いただきたいと考え『Biz@gent (ビズ・エージェント)』を展開しています。

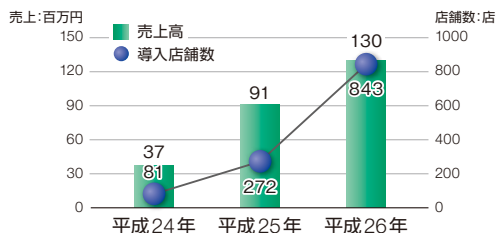
この『Biz@gent』によって、スーパーマーケットやドラッグストアなどにも決済代行端末とそのシステムが導入され、コンビニエンスストア以外の場所でも、日々の買い物と一緒に代金を支払うことができるようになります。これからも総合決済プロバイダーとして、消費者の生活環境やライフスタイルの変化に柔軟に対応したサービスの提供に努めてまいります。

### Biz@gentの仕組み



### 拡大する導入実績

#### 収納窓口サービスの状況



**店舗数843店舗、  
処理件数100万件と順調に増加**

・スーパーマーケット	443店舗
・ドラッグストア	252店舗
・家電量販店、その他	148店舗
合計	843店舗

# 連結財務ハイライトと平成27年12月期 通期業績見通し

当社グループの平成26年12月期(第48期)における業績・財務概況及び次期の業績予想についてご報告いたします。

## 平成26年12月期 業績のポイント



**売上高、利益ともに過去最高となりました。**

売上高は、前年同期比7.9%増収。計画比は売上が若干未達であるものの、利益面では、営業利益、経常利益、純利益ともに計画を達成しました。



**純資産は、前連結会計年度末と比較して6億6百万円増加し、76億78百万円となりました。**

これは主に、利益剰余金が4億81百万円増加したことによるものです。

## 平成27年12月期 通期業績見通し

平成27年12月期の連結業績は、売上高300億円(当期比13.2%増)、営業利益12億円(当期比4.0%増)、経常利益12億10百万円(当期比4.0%増)、当期純利益7億45百万円(当期比8.7%増)を見込んでおります。

単位：百万円、単位未満切り捨て

### 連結損益計算書(要約)

	前期 平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで	当期 平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで
売上高	24,559	<b>26,494</b>
売上総利益	4,218	<b>4,575</b>
営業利益	1,016	<b>1,154</b>
経常利益	1,021	<b>1,163</b>
当期純利益	593	<b>685</b>

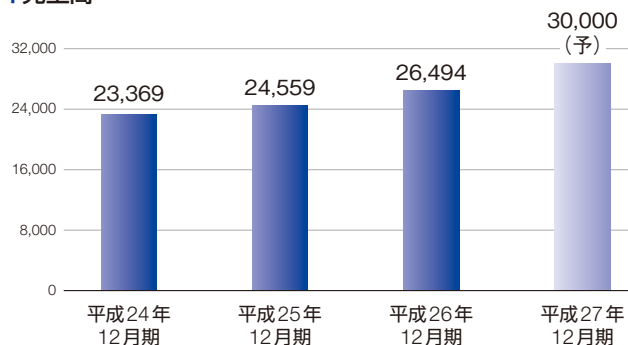
### 連結貸借対照表(要約)

	前期 平成25年12月31日現在	当期 平成26年12月31日現在
資産合計	26,396	<b>27,350</b>
流動資産	22,647	<b>22,994</b>
固定資産	3,749	<b>4,356</b>
負債合計	19,324	<b>19,671</b>
流動負債	18,767	<b>18,934</b>
固定負債	557	<b>736</b>
純資産合計	7,072	<b>7,678</b>

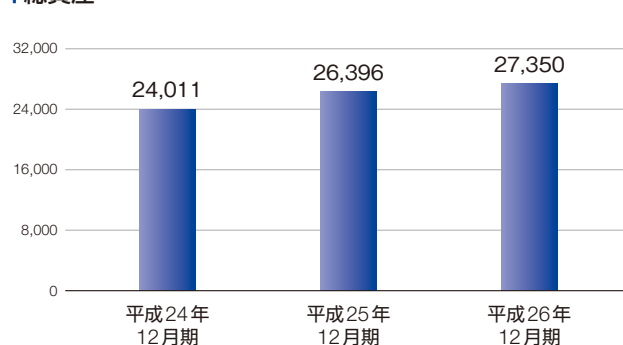
# 経営指標の推移

単位：百万円、単位未満切り捨て

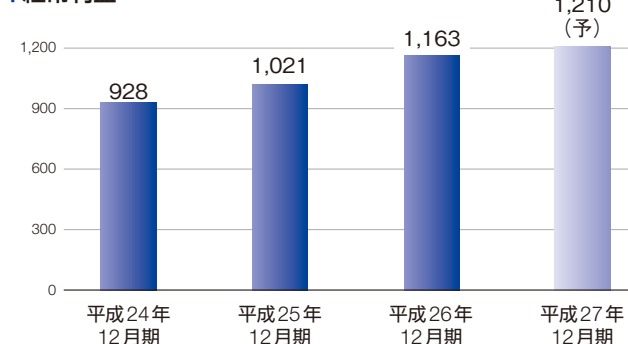
## 売上高



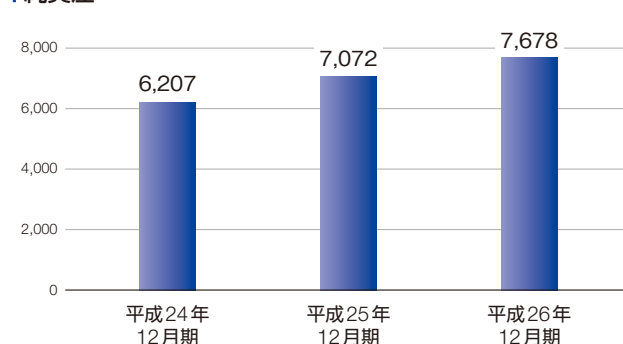
## 総資産



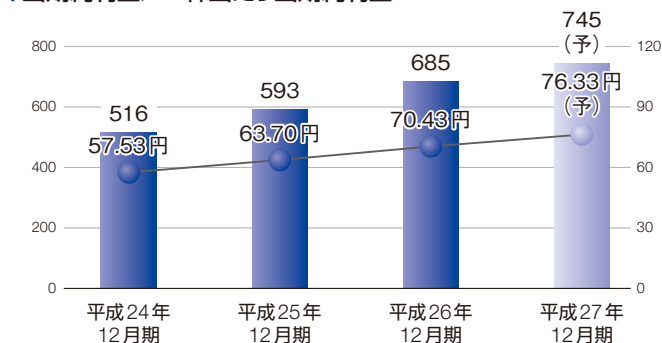
## 経常利益



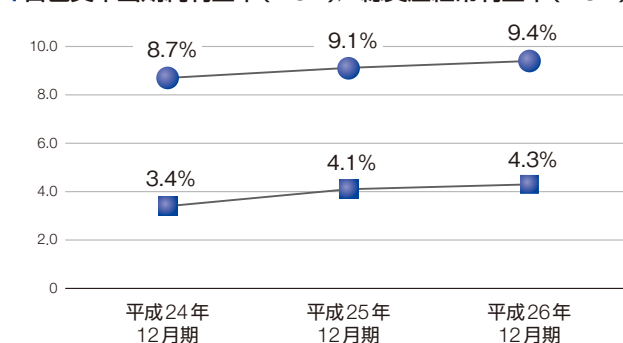
## 純資産



## 当期純利益 / 1株当たり当期純利益



## 自己資本当期純利益率(ROE) / 総資産経常利益率(ROA)



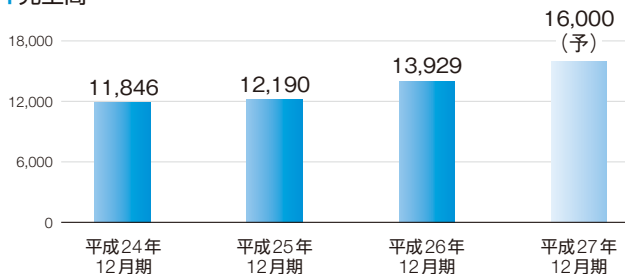
※平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株を2株に分割いたしました。  
1株当たり当期純利益につきましては、株式分割考慮後の数値を記載しております。

● ROE ■ ROA

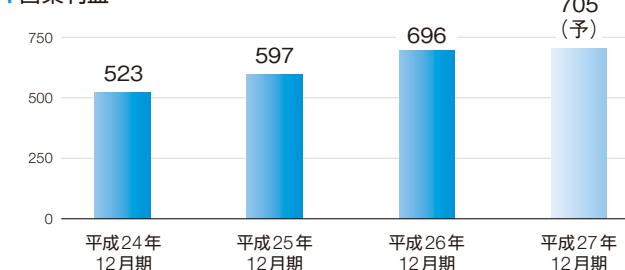
## ● 事業別の業績 単位:百万円、単位未満切り捨て

### 情報サービス事業

#### 売上高



#### 営業利益



売上高は前期比14.3%増収の139億29百万円、営業利益は16.6%増益の6億96百万円となり、順調に推移

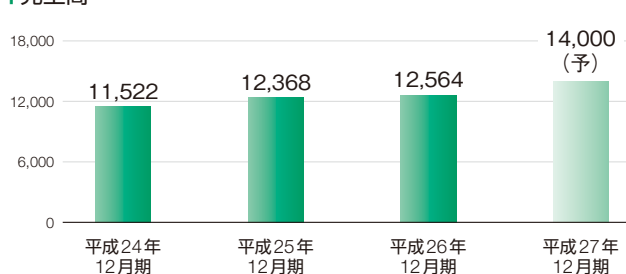
大型案件の検収があったことや、Google Appsなどクラウド関連サービスの売上が伸長したこと、Windows XPのサポート終了に伴う駆け込み需要を背景にシステム機器の受注が好調であったこと等から売上が伸長しました。

#### 平成27年12月期 通期業績見通し

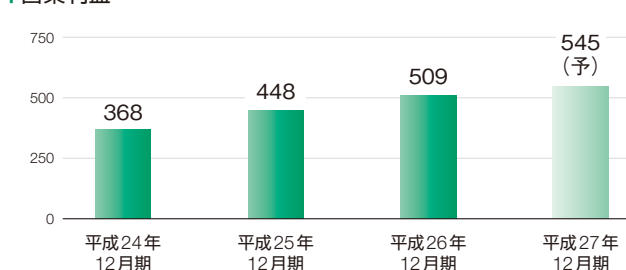
下期検収案件が多く、上期利益が圧迫される傾向にありますが、通期では好調であった当期並みの利益が確保できる見込みです。売上高は14.9%増収の160億円、営業利益は1.2%増益の7億5百万円を見込んでおります。

### 収納代行サービス事業

#### 売上高



#### 営業利益



売上高は前期比1.6%増収の125億64百万円、営業利益は13.7%増益の5億9百万円となりました

新規顧客の獲得や収納代行窓口サービスの拡大は順調に推移したものの、一部通信販売事業者の合理化の動きに加え、クレジットカード決済において売上とクレジット手数料を相殺し純額表示とした影響等から売上は微増に留まりました。

#### 平成27年12月期 通期業績見通し

今期は通常の成長に戻ることや、当期の受注が好調で順次今期の売上に貢献してくることから、売上高は11.4%増収の140億円、営業利益は6.9%増益の5億45百万円を見込んでおります。



Vol.7

## ～DSKの創業事業・情報処理サービス ノウハウが生きる BPO 事業～

情報処理サービスを発展させたBPO (Business Process Outsourcing) 事業では、長年の実績とノウハウにより、企業のバックオフィス業務の支援や、コストダウン、業務の効率化に情報処理のプロとしてお役にたちたいと考えております。

### Q1. DSKのBPO事業は具体的にどんなサービスを提供しているのか教えてください。

当社のBPO事業は、主に食品関連企業(通信販売企業等)が扱うカタログギフトや頒布会の業務処理を中心に受託しています。

例えば郵便局関連や百貨店等が扱う産直ギフト業務や、お中元・お歳暮、こどもの日・母の日やクリスマスなどのイベントにおけるギフトサービスを裏方として支えているのが当社です。消費者がカタログを見て、また店頭窓口で記入された申込書の、入力業務、データ処理(受発注等)、送り状の印字等が主たるサービスです。消費者の方々と直接関わる業務として、お客様からのお問い合わせ等に対応するコールセンター業務、商品の到着確認業務、商品提供企業との商品代金決済の運用支援業務、請求書の印字代行業務なども受託しています。



▲ データシステム事業部  
松岡心 課長

### Q2. 他社との差別化できている点や強みを教えてください。

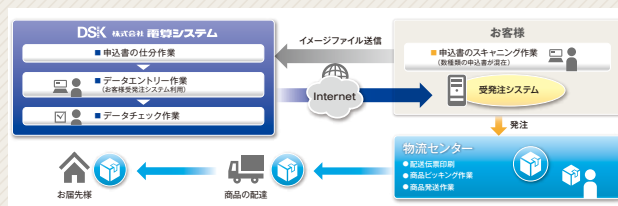
当社は申込書のデータ入力、送り状の印字処理、作成した郵便物の仕分け・発送等までワンストップで提供できる点、また、東京、岐阜、長野、大阪、福岡、宮崎の当社BPOセンターによる広域なネットワークが強み

です。さらに、農水産物や加工食品業界のギフトサービス向けに長年の実績とノウハウの蓄積により、特定の時期の大量データ発生にもフレキシブルに対応することが可能です。こうした、きめ細やかなサービス提供がお客様からの信頼を得ている点だと思っています。

### Q3. 今後の展開について聞かせてください。

現状の強みにさらに磨きをかけるとともに、農水産物や加工食品業界以外のBPOサービスの提供にも取り組んでいきたいと思っています。それにより更なる規模の拡大を図り、業務の効率化やコストダウンに繋がりたいと考えています。

また、当社は岐阜県土岐市に東濃データセンターを一昨年に開設し、ハード面からもBPOをバックアップしていく体制が整っています。創業以来の技術とノウハウが最新の設備と組み合わせることで、お客様からますます信頼されるBPO事業に発展させていきます。



▲ ギフト販売業務BPOの事例

当社をより深くご理解いただくために、当社が取り組んでいる諸活動の内容やトピックスをご紹介します。

TOPICS  
01

## ガーデンネットワーク株式会社の株式取得(子会社化)\*

\*平成26年9月1日付

エネルギー業界向けのITサービス提供拡大に向け、当社グループにガーデンネットワーク株式会社が加わりました。

当社は、創業の早期よりガソリンスタンド向け受託計算処理サービスを始め、POSオンラインサービスを中心にコールセンターサービス、決済代行サービス等の提供、及び周辺の機器販売等を展開しております。ガーデンネットワーク株式会社とは元売系列指定で商圏が競合しておらず、当社グループ

化することで、サービスを提供するガソリンスタンド数が3,000か所(全国のガソリンスタンドの約1割)へと広がります。激変が予想されるエネルギー業界に対し次のチャンスを掴むべく、サービスの統合・リソースや人材の最適化を進め、シナジー効果を最大限に発揮し売上拡大を図ってまいります。

09

TOPICS  
02

## オフィシャルスポンサーとしてFC岐阜を応援しています

当社では地域活性化の一環としてFC岐阜をサポートしています。ラモス瑠偉監督をはじめ、元日本代表の川口能活選手が在籍するなど実力のある選手が活躍しています。選手のトレーニングウェアの背中には、当社のロゴマークが採用されています。



▲ 練習する川口選手

TOPICS  
03

## 剣道部を紹介いたします

当社では社員交流の場として、様々な部が活動しており、今回は剣道部をご紹介します。剣道部は平成23年9月に経験者を中心に発足いたしました。剣道の理念である「剣道は剣の理法の修練による人間の形成の道である」を忘れず、社外の交流も交えながら毎月の稽古や、日頃の成果を試すために主要な大会へ出場するなど、積極的に活動しています。



▲ 岐阜県剣道選手権大会 四段の部 試合風景 (梅田 堅/データアドビンス事業部)



# 会社概要及び株式情報 (平成26年12月31日現在)

## 会社概要

商号	株式会社電算システム(Densan System Co.,Ltd.)
設立年月日	昭和42年3月14日
資本金	12億2,048万円
従業員	連結690名(単体569名)
事業内容	・情報サービス事業(SI・ソフト開発、情報処理サービス、商品販売) ・収納代行サービス事業
本社所在地	岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀東急ビル TEL.03-3206-1771

## 株式の状況

発行可能株式総数(普通株式)	29,760,000株
発行済株式の総数(普通株式)	10,009,800株
株主数	14,401名

## 大株主

株主名	持ち株数(株)	持ち株比率(%)
電算システム従業員持株会	915,366	9.1
ヒロタ株式会社	890,100	8.8
株式会社十六銀行	441,900	4.4
株式会社大垣共立銀行	424,900	4.2
宮地 正直	420,070	4.1
岐阜信用金庫	359,900	3.5
有限会社福田製作所	240,000	2.3
株式会社トーカイ	207,180	2.0
TIS株式会社	200,000	1.9
三井化学株式会社	180,000	1.7

※順位において自己株式254,854株を除いております。

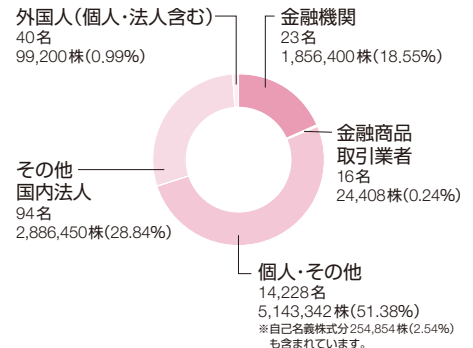
## 取締役及び監査役(平成27年3月25日現在)

代表取締役会長執行役員 CEO	宮地 正直
代表取締役社長執行役員 COO	田中 靖哲
専務取締役執行役員	小林 領司
専務取締役執行役員	松浦 陽司
常務取締役執行役員	杉山 正裕
取締役執行役員	加藤 徹
取締役執行役員	目黒 洋之
取締役執行役員	後藤 治人
取締役	益子原 誠治
監査役	澤邊 茂美
監査役	富坂 博
監査役	野田 勇司

(注)

- CEO (Chief Executive Officer)最高経営責任者
- COO (Chief Operating Officer)最高執行責任者
- 益子原誠治氏は、社外取締役(非常勤)であります。
- 富坂 博、野田 勇司の両氏は、社外監査役(非常勤)であります。

## 所有者別株式分布状況



**DSK ラウンジ** 株主さまと電算システムのコミュニケーションページです。

## IRサイトのご紹介

当社では、ホームページにて即時情報開示に努めております。  
個人投資家向けIRサイトも設置しておりますので、ぜひご覧ください。



ご登録は  
こちら

電算システムIR  
**メールマガジン**

最新のIR情報をお届けします

**ぜひご登録ください!**  
IRメールマガジンをスタートしました。

当社の最新ニュースなどをEメールでお知らせするIRメール配信をスタートしました。  
当社ホームページにて登録を受け付けております。ぜひ、ご活用ください。

IRサイト <http://www.densan-s.co.jp/ir/index.html>

個人投資家向けサイト <http://www.densan-s.co.jp/ir/individual/index.html>

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
定時株主総会	毎年3月中		三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日	(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株		取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とします。 【当社ホームページ】 <a href="http://www.densan-s.co.jp/">http://www.densan-s.co.jp/</a>		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		

### ●住所変更のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座を開設されていない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●配当金計算書について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、相続特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。※確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

## 株式会社 電算システム

岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456  
東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀東急ビル TEL.03-3206-1771 <http://www.densan-s.co.jp/>